



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[12月号]

◎**座談会** 沖縄県の水道の現状と展望～県企業局OBと産業界代表により座談会～広域化と委託の推進が事業を持続させる…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎冬季の省エネルギーの取組について…省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定 ◎「住まいの復興工程表」の更新(28年9月末現在)について…復興庁 ◎国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)ロードマップの策定について…環境省 ◎「川の防災情報」をリニューアルします!～洪水の危険性をリアルタイムで知らせ、主体的な避難を促進～…国土交通省 ◎「日本の気候変動対策支援イニシアチブ～途上国のニーズに応じて～」の発表について…環境省 ◎中小企業・小規模事業者の数等(2014年7月時点)の集計結果…中小企業庁 ◎オンライン講座「建設業生産性向上教室」開講～日本の建設業を元気に!利益は現場から!…国土交通省◎中堅・中小製造業向け「スマートものづくり応援ツール」情報…経済産業省 ◎**明日への道標** 広告の鬼神となれ～吉田秀雄の電通鬼十則～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**東京ブラリポ** 赤穂浪士の討ち入り 泉岳寺から吉良邸跡へ…(株)日本設備工業新聞社顧問坂本弘道 ◎マンション建築考-4- ヴィンテージマンションの考現学…三浦義幸 ◎ゼネコン・サブコンにおける最近1年間の完成工事高(その1)…配管システム研究会 ◎**トビックス** トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎「LaCoon」新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所いどころじ ◎建築着工統計[2016年9月]…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[1月号]

◎**シリーズ** 次代を担う衛生・環境工学者 No.2 村上道夫 福島県立医科大学准教授を訪ねて～リスクを想定、評価し対策を判断する科学を深める～…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎**トビックス** ポリテック最新活動 東北で初の講演会 大震災から6年を前にし、年末の仙台に130人参集 清野馨氏、高崎みつる氏ら公演 ◎国民生活を支える水道事業の基盤強化等に向けて講すべき施策について…厚生科学審議会生活環境水道部会 水道事業の維持・向上に関する専門委員会 ◎熊本地震に関してセーフティネット保証4号の指定期間を平成29年3月14日まで延長します…中小企業庁 ◎「リデュース・リユース取組事例集」及び「リデュース・リユース データブック」の公表…環境省 ◎下請等中小企業の取引条件改善のため、振興基準の改正、通達の見直しを行いました…中小企業庁 ◎建設業者への社会保険等加入指導で92.7%の加入を確認…国土交通省 ◎2015年度(平成27年度)の温室効果ガス排出量(速報値)…環境省 ◎「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部の施行期日を定める政令」及び「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令」…国土交通省 ◎世界初! NCVプロジェクトが始動…環境省 ◎明日への道標 水を治めて天下に活かす～先人たちが遺した希望の糧～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**東京ブラリポ** 上野の森からアメ横に…(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎マンション建築考-5- ヴィンテージマンションの考現学…三浦義幸 ◎**トビックス** トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎「LaCoon」新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎ゼネコン・サブコンにおける最近1年間の完成工事高(その2)…配管システム研究会 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所いどころじ ◎建築着工統計[2016年9月]…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

ビブリオバトル全国大会で優勝した山梨の高校生が朝刊で紹介されていた。ラテン語で本を意味するビブリオのバトル=闘争ということで知的書評合戦とも呼ばれている。出場者がおもしろいと思った本を5分間ずつアピールし、いちばん読みたくなったチャンプ本を聴衆の投票で決定する。

情報工学者の谷口忠大が京都大学の研究員のときに発案し、ゲーム感覚で大学から小学校の教育現場まで一気に広まった。読書感想文コンクールと決定的に異なっているのはいわゆるプレゼンで競いあう点だ。読み手と聴き手の双方向のコミュニケーションの深さで勝敗が決まっていく。

わたしのささやかな経験からいうと本を読むという行為も一種のコミュニケーションだ。ひとり人間が知りうる世界などきわめて限られている。読書を通じて自己は見知らぬ他者のメッセージを共有することができる。その意味で読書とは著者と読者の時空を超えた無言の対話にほかならない。

前衛劇団・天井桟敷で一世を風靡した寺山修司は1967年に評論集『書を捨てよ、町へ出よう』を上梓し、街頭で叛乱する戦後世代の共感を呼んだ。既成の常識に囚われず行動せよという挑発的タイトルはノーベル文学賞を受賞したアンドレ・ジイドの『地の糧』から流用された。

いまでは書を捨てよと叫ばなくても反知性的な言動が社会を席巻しつつある。むしろ書を捨てないことが個性的な時代になったとわたしは思う。ビブリオバトルに参加する若者たちは本を通じて自分のことを語ろうとしているのだ。(高倉)

給排水・環境設備の総合誌

月刊「コア」第327号

平成29年2月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884